

規格外バレイショサイレージは 搾乳牛用飼料として利用できる

長崎県内の酪農家には、経営内外で発生する規格外バレイショを乳牛の飼料として有効に活用したいとのニーズがあります。しかし、過去において、生バレイショを搾乳牛に給与した生乳に異常風味が発生した事例があり、生バレイショの乳牛への給与は行われていません。そこで、長崎県農林技術開発センターでは、サイレージ化した規格外バレイショを搾乳牛に給与しても、生乳の風味や生産性に影響を及ぼさないことを明らかにしましたので紹介します。

☆ 技術の概要

1. 細断した規格外バレイショを7、脱脂米ぬかを3の割合で混合して水分を60%に調整し、発酵促進のために糖蜜を2.4%添加して密封して6週間程度貯蔵すると、pHが低く、酪酸が検出されない良質なサイレージができます。
2. バレイショサイレージを、TDN73%、粗蛋白質15%の設計飼料中に乾物で最大36%まで配合給与しても、生乳の風味評価は良～可の範囲にあり、異常は認められません。
3. バレイショサイレージを乾物で20%配合した飼料を搾乳牛に給与しても、飼料の乾物摂取量や乳量の低下はなく、飼料効率にも差はありません。また、乳脂肪率、乳蛋白質率、乳糖率および無脂固形分率などの乳成分にも差がなく、乳質基準を満たしています。



写真1 規格外バレイショ



写真2 規格外バレイショサイレージ

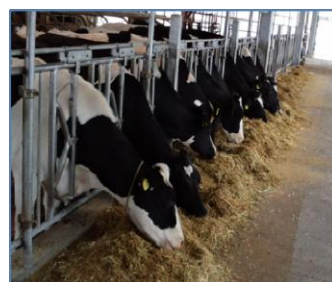


写真3 給与状況

☆ 活用面での留意点

廃棄されている規格外バレイショを乳牛用飼料として活用しても、生乳の風味を損なうことなく乳生産ができます。なお、詳細は、長崎県農林技術開発センター・大家畜研究室 井上哲郎(TEL: 0957-68-1135)にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)